

案件	令和 8 年度 第 1 回 東大阪市社会教育委員の会議 議事録
日時	令和 8 年 5 月 18 日（月）午後 1 時 30 分～2 時 30 分
場所	東大阪市役所 本庁舎 1 階多目的ホール
出席者	<p>社会教育委員（6 名） 杉森委員(議長)、齋藤委員(副議長)、谷本委員、原田委員、北木委員、兼重委員 委任状提出（2 名） 西野(幸)委員、西野(要)委員</p> <p>事務局 上月社会教育部長、河井社会教育課長、望月社会教育課主査、永楽社会教育課主査 出席説明員 大塚青少年教育課長、森本長瀬青少年センター館長、松村社会教育センター館長、 島崎市民スポーツ支援課長</p>
会議概要	<p>◎会議の成立状況報告 社会教育委員総数 10 名中、出席委員 6 名、委任状提出委員 2 名 東大阪市社会教育委員の会議運営要綱第 3 条の規定により会議は成立。</p> <p>◎上月社会教育部長挨拶</p> <p>◎杉森議長挨拶</p> <p>※配付資料 ・会議次第 ・資料 1】社会教育関係団体に対する補助金・委託料の一覧 ・資料 2】令和 8 年度 社会教育部当初予算一覧 ・資料 3】冊子、まなびにトライ！第 34 号 ・資料 4】報告）生涯学習啓発イベントにかかる実績及び成果・課題（R7） ・資料 5】第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会開催要項（案） ・資料 6】社会連会報 No.98 ・資料 7】「文化のつどい」のパンフレット</p> <p>◎議事 案件 1 社会教育関係団体への補助金等について【資料 1】 事務局 資料 1 に沿って、社会教育関係団体への補助金・委託料について説明。</p> <p>質疑応答 特になし</p> <p>案件 2 令和 8 年度社会教育部当初予算について【資料 2】 事務局 資料 2 に沿って、令和 8 年度社会教育部当初予算について説明。</p>

質疑応答

委員 図書館図書購入費について詳細説明を求める。

事務局 図書の中でも電子図書にかかる経費である。令和7年度については1,485万円、8年度は2,400万5千円となっている。本市は5万冊超の電子図書を有しており、これは全国最大級の蔵書である。電子図書には有期限のものもあり、5万冊超を維持するために、毎年度予算を計上しているところ。今年度は6千冊程度の予算となっている。

委員 青少年教育課の留守家庭児童育成事業及び留守家庭児童育成クラブ整備事業の増額は対象児童の増加によるものか。また今後も増額されるものか。もしくは一時的な対応なのか。加えて公民館等施設管理費の増額は人件費等や物価上昇によるものか、他の特殊事情によるものなのか。以上について詳細の説明を求める。

出席説明員 留守家庭児童育成クラブ整備事業については、対象児童の増加に対応するため、学校の空き教室を整備するための経費を計上している。また普通教室の空きにも限りがあることから、今年度は図書室や図工室等の特別教室を学校とタイムシェアして留守家庭児童育成クラブで利用するため、3校分の整備経費を計上している。

一方の留守家庭児童育成事業の委託料については、契約期間中は物価上昇を考慮して、毎年度増額する契約となっている。

委員 東大阪市の児童数は過去と比べて減っているのか。

出席説明員 児童数は減っているが、留守家庭児童育成クラブの申し込みの割合については、10年前では全体児童の15%程度であったものが、現在では25%に上昇しており、全体児童が減っているにもかかわらず、留守家庭児童育成クラブの児童は毎年度300人程度増加している結果となっている。そのため、毎年度、整備する必要がある。

委員 今は、どこが受託しているのか。

出席説明員 ほとんどの学校はシダックスで、地域の事業者も9事業者が受託している。

委員 ますます需要が増えているようであるが、対象となる学年はそれぞれの学校で異なるのか。

出席説明員 東大阪市はすべてのクラブで6年生まで加入できるが、高学年になるほど申し込み人数は少なくなる傾向にある。

出席説明員 公民館等施設管理費1,059万6千円の増額に関しては、機器保守点検委託料が1,550万円増、備品購入費として822万8千円増となっている。利用者は比較的多いものの、公民分館は40年、50年が経過しており、30の分館と5分室では和式便所、男女共用といったところも多く、水回りに関しても漏水があつたりと、傷みが激しくなっているのが現状である。

委員 今後も恒常的に経費がかかる前提で予算を確保されたほうが良いと考える。

案件3 その他「令和7年度における生涯学習啓発イベントにかかる実績及び成果・課題について」

事務局

資料3に沿って、令和7年度における生涯学習啓発イベントにかかる実績及び成果・課題について説明。

質疑応答

特になし

事務局より報告

事務局

・文化のつどいについて

6月6日・7日の土日で2日間、東大阪市文化創造館で開催

・東大阪市国際識字デー・市民のつどいについて

9月8日の火曜日に、今年は希来里のイコーラムホールで開催

・識字展について

11月28日の土曜日から12月4日の水曜日までの期間で開催予定で、永和図書館、本庁舎1階、花園図書館でそれぞれ開催

・東大阪市連携6大学公開講座について

現在、日程調整中

令和9年2月に開催予定で、若江岩田駅前希来里「イコーラム」にて実施

・東大阪市民文化芸術祭について

令和9年3月5日から7日、金・土・日での3日間、文化創造館において開催

・第68回全国社会教育研究大会大阪大会等について

第68回全国社会教育研究大会大阪大会、近畿地区社会教育研究大会大阪大会及び令和8年度大阪府社会教育研究会議が10月28日から30日の3日間で同時開催、スタッフとして社会教育委員への協力依頼がある

・中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会について

時期は未定、昨年は2月、一昨年は1月に開催

質疑応答

委員 全国大会のスタッフ要請については、個別に確認するのか。

事務局 回答締切日の6月19日までの間で調整させていただきたい。協力内容や拘束時間などの詳細は、わかり次第共有させていただく。なお、一般参加の場合は、7月に別途照会が来る予定となっている。

その他の意見交換

委員 社会教育に関し、もう少し大学がかかわっていかねばならないのかとも感じている。先ほど施設の修繕云々の話があったが、大学も色々な施設を持っており、それを使っただけのような、地域に開かれた制度についても考えてまいりたい。

委員 公民分館の運営委員長を担っている。古い分館が多い中、修繕、修理について各運営委員長から苦情を聞く。緊急の対応だけはお願いしたい。

委員 公民分館が新しくなったが、茶室の炉の切り方が間違っていたり、Wi-Fi は後付けになったりした経緯があり、建設の際には専門家の意見をしっかり聞いて設計してもらいたい。

委員 6月6、7日で文化のつどいを開催する。3月には市民文化芸術祭も開催する。一般の方から実行委員を募集して実施する事業である。

委員 他の委員のご発言で、大学が地域の社会教育にどのようにかかわってこられたのかを自問、反省し、今後は地域交流、社会教育にどのようなことができるのかを考えてまいりたい。

今回予算審議ということであったが、ここでの意見が予算に反映されることはあるのか。

事務局 予算は3月の議会ですでに決定されているものであるので、変わることはない。補助金や委託料に関しいただいたご意見は、今後の予算編成の際に参考とさせていただきます。

委員 現状に関する意見を述べることとなるが、人件費や事務費の継続的な上昇に対応、確保していただくこと、公民分館などが老朽化によって使用困難な声などを届けていただきたい。

委員 東大阪市の市税は増えているのか。

事務局 市税については、今年度は約13億円の増収を見込んでいる。市の当初予算では、8年度は7年度と比較して約57億円増加している。

委員 補助金や委託料が使い切れなかった場合は、返還しなければならないのか。補助金が足りない場合は追加してくれるのか。

事務局 委託料も補助金も精算で返還いただく場合がある。補助金はいくまでも「補助」であるので、足らずを保証させていただくことはない。増額のお話については、お聞きはするが、必ずしも反映されるものではないので、ご理解いただきたい。

議長 本日の会議は以上で終了する。

◎閉会